

ちいさなす

2012

5+6月号

こどもとしょかんだより

君と未来をつなぐ本

2012・第54回こどもの読書週間

4/23～5/12



こどもとしょかんでは、こどもの^{どくしょしゅうかん}読書週間にあわせて
おすすめの本^{ほん}のリストをつくりました。

今年のテーマは・・・^{ことし}ぼうけん!

ドキドキ・ワクワクするような本^{ほん}がいっぱいです。

自分だけのぼうけんを、見つけられるかな?

このブックリストは、こどもとしょかんカウンターで
5月31日まで^{くば}配っています。



よこ
カウンター横で
ブックリストにのっている本^{ほん}の
てんじ
展示をするよ!
て
手にとってみてね♪

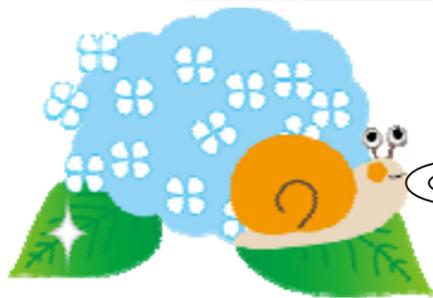
梅雨の季節を楽しもう

梅雨は、5月から7月頃にかけて毎年めぐってくる、曇りや雨の多い季節です。空気がしめって、じめじめした天気がつづきますが、作物が育っていくためには、とても大切です。なかなか外で遊ばませんが、この季節ならではの過ごし方、楽しみ方もありますよ。その1つは本を読むこと。たくさんの本と出会って、楽しくすごしてくださいね。

あめに輝くあじさい

梅雨の時期に咲くので、雨のイメージがある花です。小さい花（花びらに見えるのは、かくの部分）が、球のようにかたままって咲きます。青色やむらさき色などに変化するので、「七変化」などともよばれます。雨でいたんでしまう花が多い中、あじさいは雨に負けずきれいな花を咲かせます。ぜひ、観察してみましょう。

あじさいは、長崎市にゆかりのあるシーボルトが「オタクサ」と名前をつけて世界に紹介したんだ。1968年に「長崎市の花」に選ばれて、長崎ではおなじみの花になっているよ。



おすすめの本

『かさどろぼう』

シビル ウェッタシンハ / 作 絵 徳間書店 (外国絵本ウ)

まちで、生まれて初めてかさを見たおじさんは「なんてきれいなものだろう」とよろこんで、村へ買って帰りました。ところが、何度買って帰っても かさは誰かにぬすまれてしまいます。さて、だれのしわざなのでしょう？



『おじさんのかさ』

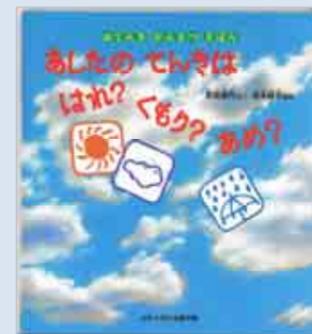
佐野 洋子 / 作 絵 講談社 (日本絵本サ)

黒くて、ぴかぴかひかったりっぱなかさがぬれるのがいやで、かさをさそうとしない、おじさん。ある雨の日、子どもたちがかさをさして楽しそうに歌をうたっているのをきいて、はじめてかさを広げってみました。すると……。

『あしたのてんきははれ?くもり?あめ?』

野坂 勇作 / 作 福音館書店 (ちしき絵本45ノ)

雲のようす、風向き、星空などを観察することで、天気を予想できると気づかせてくれる科学絵本。13の天気に関する昔からの言い伝えを科学的に裏づけています。自分の五感をはたらかせて、天気を予想してみよう。



『雨やどりはすべり台の下で』

岡田 淳 / 作 伊勢 英子 / 絵 偕成社 (913才)

夏休みのある日、スカイマンションに住む10人の子どもたちが、公園で野球をして遊んでいると、同じマンションに住む雨森さんというおじさんがやってきた。すると突然雨がふりだしてきて……。子どもたちは、雨森さんとの不思議な出来事を語り始める。



◎ おはなし会 場所:おはなしのへや

あかちゃんとお母さん 小さい子向け (2・3・4歳〜) 大きい子向け (4・5・6歳〜)
 5/3 (木) 5/10 (木)、5/24 (木) 5/6 (日)、5/20 (日)
 6/7 (木) 6/14 (木)、6/28 (木) 6/3 (日)、6/17 (日)
 ①11:00~②15:00~ 11:00~ 15:00~

◎ こどもの日 ☆ とくべつ! いちにち えいが会 場所:多目的ホール
 5/5 (土・祝) 10:30~16:10 「トムとジェリーの大冒険」ほか

◎ こどもえいが会 場所:多目的ホール
 5/12 (土) 14:00~ 「まめうしくん」(あきやま ただし/原作)
 6/9 (土) 14:00~ 「ちいさなきいろいかさ」(森 ひさし ほか/原作)

◎ 特集展示

4/28~5/31
 としょかんからのおすすめ!
 この本よかよ♪
 6/1~6/30
 あめのきせつをたのしもう



◎ ミニ展示

4/16~5/14
 おかあさんだいすき
 5/16~6/17
 おとうさんだいすき



みんなもうちの本、としょかんの
 本を、水からまもってあげようね。

今月の作家
 はまだ ひろすけ
 浜田 広介

はまだひろすけ
 浜田広介さんは、1893(明治26)年5月25
 日、山形県で生まれました。

人間の「よい心」をテーマにたくさんの童話や童謡
 を発表し、代表作に『泣いた赤おに』『むく鳥のゆ
 め』などがあります。

浜田さんの作品は「ひろすけ童話」とよばれ、現在
 でも多くの人に読みつがれています。



『泣いた赤おに』
 はまだ ひろすけ 作
 かじやま としお 絵
 偕成社 (日本絵本力)

『むく鳥のゆめ』
 はまだ ひろすけ 作
 あみなか いづる 絵
 集英社 (日本絵本ア)